



平成二十八年

好天に恵まれ
近年になく暖かい正月

元日、年明け直後の本殿前



元旦午前零時、本殿では恒例の九州旅客鉄道株式会社の一
番祈願祭が斎行された。本殿前、祈願殿内、福みくじの各授与所では、神職と巫

平成二十八年「丙申」、皇紀二六七六年、新しき年を迎えるにあたり、行列は神門から第一駐車場の社務所前まで続く中、新年を告げる大太鼓が境内に鳴り響くと同時に神門が開かれ、初詣の人々の波が怒涛の如く本殿に広がり、宗像大神に祈る参拝者の熱気が境内に満ち溢れた。



災い申がごとく
多くの参拝者で賑わう



平成ノ大造営

時満ちて
道ひらく

余滴

世界的に和食がブームとなり全世界に約九万店の日本食レストランが実在している。その

背景には、平成二十五年に和食がユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の「世界無形文化遺産」に登録された事も大きく関係している▼この認定の要因としては、和食がただ単に見た目が美しく、ヘルシーという理由だけではなく、我々日本人の気質に基づいた「自然を尊ぶ」という「食」に関する習わし、伝統文化が深く関係しており、おせち料理など年中行事で、親族が集まり共に食すことや、地域の祭典後の直会など、食を通しての地域コミュニティの密接な関りなども評価され認定の運びとなったという▼その一方で国内では食生活の欧米化による肥満化や食糧自給率の低下、食品ロス等食に関する問題は山積しており、この問題は現代の社会生活にもつながる深刻な課題となっている▼諸外国で日本食を通しての文化への理解が広まることも確かに重要であるが、なによりも我々日本人がまず先人から受け継がれたこのすばらしい食文化を再認識し、それを次世代に正しく伝えていけば、先ほどの問題も改善するのではないだろうか。(中)

神具・装束・授与品



装束店
〒600-8503 京都市下京区油小路通六条上る
フリーダイヤル 0120-075-980

授与品店
〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町23
フリーダイヤル 0120-075-820

木組の家 匠の技

総合建築業 株式会社 弘江組

〒811-3406 福岡県宗像市稲元4丁目20 電話(0940)32-2567



「第二宮」、中津宮の分霊を祀る「第三宮」へ参拝される方も多く見受けられ、三箇日は夜半まで

多くの参拝者で賑わった。四日の月曜日からは会社・団体の仕事始めの参拝が集中し、九日からの三連休は概ね天候に恵まれ、スポーツ団体等の新年祈願や各地からの初詣バスツアーの団体参拝と、晴れ着姿の新人成人も加わり華やいだ賑わいを見せ、特に十日は、もう一度正月が来たような想定を超える賑わいとなった。



女、巫女見習七十名が応対、神酒授与所ではノンアルコールの甘酒が振る舞われ、年明けの賑わいを見せていた。好天に恵まれ例年になく暖かい午前八時頃には、夜も明け、初日を浴びた本殿が輝きを放ち神々しく参拝者等を迎えた。午前九時には沖津宮・中津宮・辺津宮において元旦祭が斎行され、三

宮それぞれで皇室の弥栄、国民の安泰が祈念された。辺津宮では同九時過ぎに大駐車場が満車となり、参道はゆつくりとした長い列が続く中、各授与所の御社頭も縁起物や御神札・御守りを求める参拝者で埋め尽くされた。

正月警備には、本年も宗像市消防団・ふくろう部隊・宗像警察署の御協力を頂き、大きな問題もなく滞り無く正月を終える事が出来た。今年の正月は、好天に恵まれ近年になく暖かい三箇日で、翌週末の三連休も好天

となり、本年も多くの参拝者で賑わいを見せた。



大島 中津宮の正月

各同年講が集い成人祭や厄晴祈願を齋行

筑前大島は人口約七百人の島であるが、年末年始になると島を離れ生活する人々が帰郷し、各同年講が集い正月中に成人祭、厄除・厄晴祈願を執り行うのが慣例となっている。

大晦日には社殿・境内の

装飾など新年に向けた準備が沖中両宮奉賛会・敬神婦人部・同翼賛会の奉仕により設えられた。午後五時より神門前で年越大祓式、引き続き本殿にて除夜祭が斎行され、平成二十七年の祭儀は滞りなく納められた。



還暦を迎えた29名

午前零時、境内に年明けの号鼓が響き渡り神門が開かれると、初詣参拝者は本殿へと進み新年の祈りを捧げた。社頭では、正月の縁起物等が授与されると共に、恒例の「中津宮新春

福みくじ」が翼賛会の奉仕により行われ、宗像農業協同組合大島支店より特別協賛を賜り、新年の福を授かるうと多くの参拝者が詰め寄せた。また、境内では大島巻網船団の宮地丸組・春日丸水産より寒鯛のご芳志を頂き「開運大鯛鍋」が振舞われ、大島ならではの冬の味覚が参拝者を温かく迎えた。午前七時、神前に島内外からの海の幸・野の幸等がお供えされ、歳旦祭を斎行し、国家安泰と皇室の弥栄、国民の平安が祈念された。二日、全国に先駆け成人祭が執り行われる。午前十一時、新成人八名、保護者・恩師の他、コミュニティ関係者等が中津宮へ駆けつけ新成人を温かく祝福した。また、それと前後して、三十三歳、四十一歳、四十四歳の厄除・厄晴の同年講祈願祭も次々に斎行され、境内は旧友と交歓する人々で

大いに賑わった。

三日、午前十一時、元始祭併せ宗像漁協大島支所の大漁祈願祭が斎行され、奉賛会・翼賛会々員、漁協役員、漁業従事者が参列し、悠遠の古、元始を偲び、併せて本年初頭の海上安全、漁業繁栄が祈念された。

また、十日には今年還暦を迎える二十九名の還暦奉賽祈願祭が盛大に斎行され、祭典後には樽酒の鏡開きや餅撒きが行われ、島内各所を廻り、祝い酒を振舞いながら還暦を祝福すると共に大いに賑わいをみせていた。中津宮正月祭諸祭典斎行にあたり、多大なるご協力、ご協賛を賜りました氏子・崇敬者の皆様に衷心より厚く御礼申し上げます。



新成人

年越し大祓式・除夜祭

平成二十七年最後の祭典を恙なく齋行

十二月三十一日大晦日、午後三時より年越しの大祓式、引き続き一年最後の祭典となる除夜祭が齋行された。

近年無い暖かな天候の中、当社においては七月と

十二月の晦日に大祓式があり、七月を災難消除と豊作を祈る「夏越の大祓式」、そして一年

の罪・穢れを祓い清め新年を迎える為十二月の「師走(年越し)の大祓式」が執り行われている。

定刻、葦津宮司以下神職が神門前へ参進、まず宮司が祓を仰し、葦津権宮司が大祓詞を宣る、続いて奉仕員、参列者各人に配られた「切麻」で自身を祓い、ついで所役が「祓物」の木綿(白布)

と麻布(麻苧)を八針やはりに取辟とりさく、そして最後に神職が「大麻」にて天・地・人形・罪・穢れを祓い清め所役が人形・祓物・大麻を流棄し大祓式は終了した。

引き続き本殿に於いて除夜祭が齋行、この一年間の宗像大神の大御恵に感謝申し上げ、ご皇室・国家益々の繁栄、そして氏子崇敬者の幸福を祈り平成二十七年の諸祭儀の全てが滞りなく修められた。



大祓式 宣読

木綿と麻布を八針に取辟く

除夜祭、拝殿前に参列する多くの方々

除夜祭

また、祭典後には氏子青年会により、切麻の清掃奉仕が行われた。

献米奉告祭齋行

新春の一月十三日午前十一時、氏子総代評議員多数の参列の下、献米奉告祭が齋行され、氏子の皆様から寄せられた新穀をご神前に献上し、昨年秋の収穫を感謝すると共に、今年のご豊穰、無病息災を祈った。

祭典では、氏子を代表して高山靖男氏が奉幣使として御奉仕された。前日より

大社に齋泊、精進潔齋の上、齋服を着装して祭典に臨まれ、宗像大神の大前で無事に奉幣詞を奏上、見事に大役を果たされた。

祭典終了後には、清明殿に於いて氏子会役員を長年お勤め頂いた方(十年以上)の表彰式が行われ、本年は四名の方々に宮司より記念品と感謝状が贈呈され、参列した氏子会関係者から温かい祝福をうけた。



その後「鏡開き」が行われ、直会として皆で雑煮、ぜんざいをいただき、新しい一年を清々しく過ごすことができると大社を後にした。

- 献米奉告祭氏子奉幣使**
- 高山 靖男氏 (宗像市吉留)
- 宗像大社氏子会永年勤続者表彰**
- 谷口 利治氏 (南郷地区)
 - 田中 良一氏 (福岡地区)
 - 原田 久男氏 (若木台地区)
 - 柴田 謙介氏 (東福岡地区)
- 尚、御奉納頂きました献米は、日々の日供祭を始め、諸祭典の神饌

としてお供えをし、皆様方の安全と繁栄を祈念しておりますことを御報告致し、心より御礼申し上げます。



宗像大社氏子奉幣使 高山 靖男氏



清明殿での表彰式

沖津宮の正月

沖ノ島の勤務は、現在欄宜以下十六名の神職により一年を通じ十日交代で奉仕しております。正月といえども一人沖ノ島で新年を迎えます。左記、十二月二十八日～一月八日まで、十日間勤務した神職の寄稿文です。



沖ノ島初日の出

十二月二十八日、正月準備で忙しい辺津宮を後にし、奉仕のため沖ノ島へ渡島した。

雪が舞い水桶に薄氷が張った三年前と違い、思いのほか暖かく、海上も穏やかな日々が続き、元旦には若干の雲はあったものの雲間から初日を拝することも出来た。

沖ノ島での奉仕は神職としての本分を改めて考えさせてくれる貴重な時間であり、また必要な時間でもある。

時満ちて道ひらく

造営日記 23

沖津宮遙拝所復旧工事了 竣工清祓を斎行



■装い新たに整えられた遙拝所



■昨年10月の台風により被災時

去る十二月二十三日沖津宮遙拝所竣工清祓を斎行した。平成二十六年十月に上陸した台風十九号により遙拝所の屋根が激しく損傷した為、昨年十月より全体的な災害復旧工事が進められ、屋根はもちろんのこと、漆喰の壁、床などが綺麗に修復された。

当日神職三名により祭典が執り行われ、沖・中両宮奉賛会会長沖西敏明氏、責任役員河辺紘氏、施工者弘江組をはじめ関係各位の参列を賜り、宗像大神に竣工の奉告と遙拝所のこれからの無事を祈念する祝詞が奏上され、限なく祓い清めた。

装い新たに整えられた遙拝所により多くのご参拝を賜り、祈りを捧げて頂きたい。



■祭典・祝詞奉上



■祭典・清祓

御造営奉賛者御芳名 (平成27年12月) (順不同・敬称略)

- 100,000円 須恵町 根本山宝満堂 山下陽美子
- 宗像市 宗像青年会議所 シニアクラブ
- 10,000円 深谷市 平間 旬一
- 茨木市 占部 博
- 5,000円 香南市 佐々木麻紀
- 香南市 佐々木陽子
- 北九州市 神宮 恵美
- 東大阪市 吉住津裕子
- 福岡市 中村 太郎
- 藤井寺市 盆子原博史
- 三鷹市 高橋 晴子
- 4,000円 藤沢市 石渡 由美
- 3,000円 糸島市 国分 浩一
- 糸島市 国分 一美
- 2,000円 朝倉市 矢野 宙之
- 大野城市 川本良一和子
- 川西市 上西 崇雄
- 北九州市 中山 裕志
- 鳥栖市 津田 伴子
- 名古屋市 高村 豊
- 平生町 藤井 恵
- 広島市 鎌田 和明
- 福岡市 片山美晴・絵理
- 福岡市 浦川 裕美
- 福岡市 柴田 勝久
- 福智町 佐藤佐喜子
- 福知山市 柴村八重子
- 宗像市 柴村 和慶
- 宗像市 柴村 孝子



神前結婚式挙式者芳名

未長いお幸せをお祈り致します。

(平成27年1月～12月)

1月22日 小原 礼史様 広島県広島市

2月8日 鈴木 明次様 美穂様 宗 像 市

2月8日 柳田 尚樹様 優子様 宗 像 市

2月8日 棚古 将朗様 好美様 北九州市

2月21日 森丸 大祐様 由紀子様 宗 像 市

2月22日 岡野 剛忠様 沙織様 宗 像 市

2月23日 末次 正彦様 雅江様 福岡 市

3月1日 花田 和浩様 睦子様 宗 像 市

3月7日 安永 晋南様 七南様 福岡 市

3月7日 平川 茂雄様 悠子様 熊本県合志市

3月7日 田中 和也様 美里様 宗 像 市

3月7日 黒田 知彰様 早子様 古賀 市

3月7日 原田 真宏様 靖子様 北九州市

3月8日 相良 和裕様 瑞穂様 福津 市

3月21日 幸田 岬か様 権田さやか様 宗 像 市

3月26日 吉川 哲也様 裕紀様 福岡 市

3月29日 津村 淳二様 白土 弥生様 宗 像 市

3月29日 太田 良輝様 重藤いづみ様 宗 像 市

3月29日 長谷 徹志様 告畑 有紀様 宗 像 市

4月5日 道端 康秀様 下川 綾子様 宗 像 市

4月10日 藤山 大志様 香織様 飯塚 市

4月18日 中島 嘉信様 井本 知沙様 飯塚 市

5月3日 渡邊 岳夫様 佐藤 麻子様 福岡 市

5月3日 石松 榎行様 赤木 秀美様 北九州市

5月3日 占部 寛典様 塩谷 美咲様 広島県広島市

5月4日 中本 伸治様 早川 香織様 京都府苅田町

5月4日 佐々木 徳寛様 廣澤 志帆様 田川 市

5月4日 藤岡 裕己様 大下 枝里子様 広島県広島市

5月4日 山下 友一様 弘美様 飯塚 市

5月6日 原田 猛史様 永島 実奈子様 福津 市

5月9日 川内 敏弘様 大和 宏美様 宗 像 市

5月15日 森田 健み様 神谷いづみ様 遠賀郡岡垣町

6月2日 牛島 大明様 清水 文子様 福岡 市

6月13日 平川 裕士様 石山 涼子様 糟屋郡新宮町

6月13日 古賀 喜紀様 田實 世来様 埼玉県川越市

6月13日 久野 翔吾様 杉山 佳菜子様 広島県呉市

6月20日 的場 央憲様 重住 友里江様 宗 像 市

6月28日 石田 哲様 大庭 遥様 北九州市

6月28日 井上 俊昭様 川上 逸美様 福津 市

8月13日 菊池 省三様 谷口 淑子様 北九州市

9月19日 中村 浩之様 井野 絵里可様 愛知県岡崎市

9月20日 長谷川 隆次様 河崎 直子様 糟屋郡篠栗町

9月22日 柴田 智範様 木村 真奈美様 宮若 市

9月22日 増田 龍生様 吉田 侑子様 福津 市

9月22日 塩満 章博様 古賀 万佐代様 宗 像 市

10月10日 小田 哲様 大神 沙子様 直方 市

10月11日 進谷 勇輝様 松谷 歩様 北九州市

10月11日 巴 弘宣様 徳永 久子様 奈良県奈良市

10月11日 大田 徹子様 河邊 知香様 福岡 市

10月24日 小野 真二様 久保 尚子様 宗 像 市

11月7日 鶴元 篤様 森 香織様 東京都豊島区

12月5日 芹野 敬子様 村橋 美和子様 宗 像 市

第六五四回

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メロ



北九州市 八幡西区 豊田ミツ子
申年の縁起をかつぎ「赤」を着て屠蘇を頂く白梅一輪
お正月らしい華やかな歌。二句は少し説明的なので(申年に縁起良きとふ)としては。

宗像市 富田 山本 静子
柿狩の息子が呉れおりし富有柿色よき一つさあさむきましよ
美味しい柿だっただろう。(柿狩りの土産に子のくれし富有柿をさあさ剃きましよ色良きひとつ)としてみた。

福津市 若木台 山崎 公俊
とりあへずここでよからうと植えしより裏庭のそこに杜鵑草咲く
こことそこの対比のある歌。そこは隅などと具体があるほうが景が見え、良いのでは。

宗像市 多禮 早川 祥三
中立を校外外で使いわけ解釈学ぶ大人の資格
選挙年齢の引き下げと、高校で選挙を教えるということとを詠んだ歌が。主語を統一し、詠む対象が分かる確かな言葉を入れて。

福津市 中央 池浦千鶴子
デパートにシングルベルの曲流れ何か買わむと思わず急ぐ
気分が浮き立つ季節。下の句は何かの代わりに具体的な物の名が入る方が共感できる。

宗像市 日の里 大和美由紀
晴れて来し日差しに応へ笹鳴きのうぐひすの声弾んで来たる
先月に続き笹鳴きする鶯の声を捉えた歌。声の変化に気付く感覚の繊細さがとても良い。

宮若市 宮田 本田エリナ
浴室の左の窓を赤く染めどうだんつつじ今盛りなり
良くできた歌。秋の満天星躑躅の紅葉を入浴しながら味わう作者。二句は(窓の左を)。

宗像市 自由ヶ丘 萩原 勉
看板に蛙一匹うどん食ぶ休日夕べカ口のうろんや
休日看板の蛙に哀愁を感じた作者だろう。固有名詞は表記を正しく(かろのうろん)。

宗像市 田久 巻 桔梗
いとせ余わが見ぬふぶき実況でふるさとの友の電話が伝ふ
故郷の吹雪を懐かしく思う作者。実況の位置を移し結句を(実況で伝ふ)に。

宗像市 日の里 秋吉 喜範
紺碧の玄界灘を見おろしく常夏の国バンコクへ飛ぶ
爽やかな歌。二句(冬の玄界を)、三句(見下ろして)、結句(タイ目指し)に。

宮若市 水原 吉崎美沙子
柚子の香をまといたるがと客が言い皮を刻みて煮るとこたえる
狂言の問答みたいな固さが面白いが、口語で「」を使い会話を入れた詠み方も試しては。

宗像市 池田 森 龍子
シクラメンにポインセチアも買いました財布の口金ゆるむ師走は
歳の瀬は財布の紐ならぬ口金がゆるむのだ。下の句(師走は財布の口金ゆるみ)と。

◆ 選者詠

しぼりたる果汁はヒトにのこりたる蜜柑はメジロに梅の枝にさす
小鳥らのひと日に食ぶる餌のかさおもへば愛し蜜吸ふめじろ

俳句作品集

宗像市 多禮 早川 祥三
もみじ手の木洩れ日掬う児のあわれ

2月祭事暦

- 1・15日 月次祭
午前10時~ 高宮祭、第二宮・第三宮祭、宗像護国神社祭(1日)
午前11時~ 総社祭
浦安舞奉奏(1日)
豊栄舞奉奏(15日)
3日 節分祭
午前11時~ 於=本殿
豆打ち式
午前11時30分~ 於=斎館前
11日 紀元祭
午前11時~

編集後記

年末、大掃除といえは「断捨離」。ではないですが、年末、社務所の自席、机周りの整理、大掃除を行いました。例年してはありますが、机の上の体裁を整える程度のもので、今年は気合を入れ、事前に断捨離の本を購入、机の中や棚など、隅々まで綺麗に致しました。それから約一ヶ月まだ、美しい状態を保ち、なんとなくはありますが、仕事の効率も良くなっているような気がしております。▼本年は、「浄明正直」と清浄を旨とする神道の基本に習い、自席はもとより身なりを整え、常に綺麗な状態で、神明奉仕、社報編集に励んでまいります。▼また、寒波がくるようです、皆様ご自愛下さい。(鈴)

発行所 宗像大社社務所・宗像会

住所 〒811-1350 福岡県宗像市田島三三三
電話 (0940)621-1311(代)
編集人 大塚宗延・鈴木祥裕

毎月1日発行 定価1年送料共 1,000円